

せいわ

2024
医療法人近藤会
清和病院
新春号

●2024年1月発行 ●年4回[1月、5月、8月、11月]
●高岡郡佐川町乙1777
●TEL.0889-22-0300 ●FAX.0889-22-1777
●清和病院広報委員会発行

基本理念

私たちは、患者さま方に良質で安全な満足感のある高度な専門医療技術の提供と、地域における救急医療、保健・福祉サービス、介護などの生活の質(QOL)の向上に寄与することを目指します。

新年 あけましておめでとうございます

日頃より、当法人の運営および医療サービスにご支援ご協力を賜り、感謝申し上げます。

昨年5月には、新型コロナウイルスも「5類感染症」となり、日常生活も次第に落ち着きを取り戻しつつあるのではないのでしょうか。

「5類感染症」とは、感染力や重篤性などに基づく総合的な観点からみた危険性が最も低いとされるもので、季節性インフルエンザや麻疹・風疹、感染性胃腸炎などの感染症はここに分類されており、新型コロナウイルスもその分類となりました。しかしながら、御高齢の方が多く利用されている当院においては、感染予防のため、現在も面会予約や面会時間の制限、面会時の抗原検査をさせていただいており、患者さまやご家族の皆さまにご理解ご協力をいただいていることに、心より感謝申し上げます。

移り行く時代の中で、多様に変わる制度・サービスに柔軟な対応をしつつ、高齢化、過疎化の進む中山間地域で患者さま・利用者さまのニーズに答え、少しでも安心した暮らしができるようスタッフ一同、良質な医療・介護の提供、地域に根ざしたサービスの向上に努め、皆さまから信頼を得られる医療法人でありたいと思っております。

今年もご理解ご支援を賜りますよう、お願い申し上げますと共に、皆さまのご健康とご多幸をお祈りし、新年のご挨拶とさせていただきます。

医療法人 近藤会 理事長 近藤 近江





新年明けましておめでとうございます。本年度も宜しくお願い致します。



昨年5月8日から、コロナウィルス感染症が2類から5類へ変更となり一部自己負担金が発生するようになりました。清和病院でも平日午後15時以降に発熱外来（事前連絡要）を設けました。5類になったとは言え、院内に感染者が出るとクラスター発生も時間の問題となる為、職員の体調変化は早期にキャッチし早めの検査の実施を継続して行っています。また入院の際、面会の際に家族の方にもコロナ検査にご協力を頂いており日頃のご協力に感謝を申し上げます。

当院では、様々な職種が専門性を発揮し協働しながら入院している方々のお世話をさせて頂いておりますが、その中でも私たちの日常生活に欠かせない専門職と言えば、まず歯科衛生士が思い浮かびます。口の中には、300～700種類の細菌が生息すると言われており、お口のケアを怠ると様々な全身疾患を引き起こすと言われております。例えば動脈硬化、心筋梗塞、糖尿病、誤嚥性肺炎等です。



今回は、当病院の歯科衛生士のお話をさせて頂きます。当院には2名の歯科衛生士が勤務しています。入院時には、歯や歯肉・口腔の状態をチェックし、入院時カンファレンスに役立てています。

現場では、様々なアイテムを利用し最適な口腔環境が維持できるようにすべての病棟に入り、口腔ケアの実施、職員への指導をしています。

また、歯科的治療が必要な方においては近隣の歯科医院との橋渡し役となり情報共有し、歯科医師の来院時には先立って対応をしています。お口の健康は、「おいしく食べる」「会話をする」基本となります。

国家資格である歯科衛生士は専門性の高い知識と技術を発揮し、必要性がある方には丁寧な食育支援、摂食・嚥下機能訓練などの経験を重ねながらスキルアップをしています。

今後も、清和病院職員は多職種が専門性を発揮しチーム医療を行い、当病院利用者・入院されている方々ご家族・関係施設の方々・地域の方々に信頼され愛されるように努力致します。何卒宜しくお願い致します。

医療管理部長 藤田 みよこ



糖尿病 ～血糖値は気になりませんか？～

健康番組やテレビCMなどで血糖値や糖尿病と耳にしたことはありませんか？

糖尿病とはエネルギー源を必要としている細胞に、ブドウ糖がうまく運ばれず、血液中に溢れてしまう状態が続き、体全体のエネルギーが不足する疾患です。血液中のブドウ糖の濃度が高くなった状態を高血糖と呼びます。その状態が長く続く状態が糖尿病です。「糖尿病が強く疑われる者」、「糖尿病の可能性を否定できない者」を合わせると約2050万人が糖尿病あるいは糖尿病予備軍とされており、年齢が高い層でその割合が高くなっています。それは国民の約5人に1人に相当し、その4割近くはほとんど治療を受けていないということになります。糖尿病は、それ自体は直接命にかかわる病気ではありませんが、自覚症状がないまま進行して、合併症を起こすことが糖尿病の怖いところです。三大合併症として「糖尿病性網膜症」「糖尿病性神経障害」「糖尿病性腎症」があり、いずれも血糖値が高い状態が続くことによって、細い血管障害を引き起こし、発症します。糖尿病がある人は、そうでない人より10～20年、動脈硬化が早く進むといわれており、脳梗塞や脳出血、心筋梗塞や狭心症などの虚血性心疾患のリスクが高まります。糖尿病かどうかを調べるには、生活習慣、家族歴などの問診により尿検査、血液検査を行います。食後は血糖値が高くなるので、血液検査を受けられる場合は、10時間以上食事やカロリーの含まれた飲み物を取らないで採血するのが望ましいです。代表的な血液検査には、血糖値・HbA1cがあります。

【血糖値】 血液中の糖の濃度を調べる検査です。

空腹時血糖・・・正常値：110mg/dl未満
 正常高値血糖：100～109mg/dl
 予備軍：110～125mg/dl
 糖尿病型：126mg/dl以上

食後2時間血糖・・・正常値：140mg/dl未満
 予備軍：140～199mg/dl
 糖尿病型：200mg/dl以上

【HbA1c】 約1～2カ月の血糖の状態を把握する検査です。

正常値：5.6%未満
 予備軍：5.6～6.4%
 糖尿病型：6.5%以上

糖尿病の発症には肥満、過食、運動不足が関わっていることが多いです。糖尿病の予防には適度な運動・バランスの良い食事が大切です。いつも車を使っていたちよつとそこまでの買い物を歩いて行ってみる。エレベーターを使わず階段を使ってみるなど、できることから少しずつ運動を始めてみませんか？当院でも血糖値、HbA1c、尿検査ができますので、血糖値が気になる方やご家族に糖尿病の方がおいでの方、心配なことがあればぜひ担当の医師にご相談下さい。今後も患者様に寄り添った医療・検査室を心掛けていこうと思っておりますので、よろしくお願い致します。

医療技術部 検査科 北添

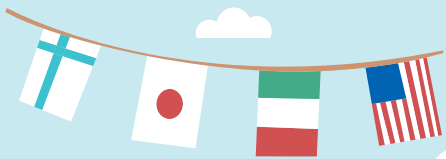
清和フェスタ2023

4年振りに清和フェスタを開催致しました。今回は、入院患者様のみを対象とし、飲食ブース（実演：鯉の薫焼きたたき、寿司、ちらし寿司、そうめん、うなぎ、コロッケ、綿あめなど）、縁日ブース（射的・ヨーヨー釣りなど）とを楽しんでいただきました。

当日の患者様の笑顔はもちろんですが、翌日以降も「お寿司が美味しかった!」「昨日は楽しかったで〜!」「来年もまたやってよ!」などと、患者様の明日への元気につながるお声が聞け、スタッフ一同、日々の業務への活力にもなりました。来年には通常開催できるよう、頑張っていきたいと思えます。



院内イベント9月 運動会を開催しました!



慰安旅行

須崎 釣り堀



香川県
うどん・四国水族館



謝肉祭



タイ



韓国



USJ



清和准看護学院 第59期生 戴帽式

令和5年11月9日、清和准看護学院59期生の戴帽式が厳かに行われました。

2年生からコサージュをつけてもらった戴帽生8名は、緊張した面持ちで武吉副学院長からナースキャップを、ナイチンゲールから灯をいただきました。

山本学院長の「感染症を経験したことにより、パンデミック時代の危機管理、デジタル革新の加速、分散型社会への転換、高齢化と少子化。ある意味今までほとんど経験したことのない状況の中で貴重な経験をしています。しかし『患者様に寄り添う』『感謝の心と細やかな気配り』『患者様ファースト』の基本姿勢を大切にこれから新しい看護を担う一人として、夢を実現できるように心を寄せ合い、仲間と共に歩み優れた人になっていくことを願います」という式辞にこたえて、戴帽生を代表して乾朝美さんが「准看護師としての知識、技術を備え、そして患者様の心に寄り添い心のこもったケアをすること、誰に対しても思いやりの気持ちをもって接していく『看護力』を身につけていきます」とこれから歩む看護の道への決意を述べました。59期生は11月16日から病院での臨地実習に臨みます。



「昭和にタイムスリップ!?!」

皆様、前号の「昭和にタイムスリップ」第2弾の方、予想できましたか? 正解は、駄場中研院長先生でした!!! 面影がありましたよね? 是非見返してみてください。では、昭和にタイムスリップ第3弾です。今回も、年代物の写真をお借りしてきました。皆様、沢山のご回答をお待ちしております。



0歳頃の写真です。ぶくぶくのほっぺがたまりませんね。



1歳3ヶ月頃の写真です。「もっとうちようだい!!!」の表情でしょうか(^^)



素敵な家族写真ですね! 右上の少年、小学生頃でしょうか。お父様お母様から正解にたどり着けるかも!?



七草粥

七草粥を食べる1月7日は「人日の節句」と言われ、春の七草という春に芽吹く7種類の野草が入ったお粥を食べ、無病息災や五穀豊穰を祈ったりと様々な意味が込められています。また、優しい味付けの七草粥はお正月の豪華な料理で疲れた胃や腸を休めてくれます。七草粥に使う春の七草はそれぞれにさまざまな効能や栄養が含まれています。ここで春の七草の種類とそれぞれの特徴をご紹介します。



せり

食欲増進に良いと言われており、食べすぎ・飲みすぎで食欲不振の身体に嬉しい食材です。



なずな

胃腸を整えるとされており、お正月明けの弱った胃腸にピッタリです。



ごきょう

風邪の予防薬として使用されることがあります。



はこべら

古くから縁起物として広く親しまれており痛み止めに使われていました。



ほとけのぎ

煎じて飲むと皮膚炎に良いとされています。



すずな

カブの別名で鎮痛作用や便秘改善に良いとされてきました。



すずしろ

大根の別名で七草粥では主に葉の部分を使用します。胃もたれや胸やけなどに良いとされ、消化促進を助ける食材です。

2023年11月28日より

ふれあい広場にイルミネーションが点灯しました。

